



特集

今こそ農家になりたい

農林水産課 ☎24・8080
JA小松市営農部 ☎23・4053

太陽の日差しの下で季節の移ろいを感じながら、野菜と共に成長する。人間の営みの原点ともいえる農業に、今熱い視線が注がれています。
こまつの農業の明るい未来に向かって、市は農家を志す皆さんと共にチャレンジしていきます。

地産地消 5つのいいこと

- ・新鮮(採れたてが食卓へ)
- ・エコ(運搬のCO₂削減)
- ・安心(生産者の顔が見える)
- ・活性化(地元の農業応援)
- ・食育(地域の食文化を知る)



県内最大の生産量。食物繊維が豊富で、生活習慣病の予防効果も



「蛭米」は実が引き締まり、食味がよいのが特徴



北陸最大の産地。「小松とまと」としてブランド化を推進

このほか、にんじん、たけのこ、丸いもなどの栽培も盛んです。

豊かな水や大地が育む
こまつの農産物

小松市は昔から、ものづくりと農業が盛んです。きれいな水と豊かな大地で、米をはじめ様々な農産物が栽培されています。

こまつの新鮮野菜を
召し上げ

野菜を買う時、どこで作られたものかチェックしていますか？地元で作られた野菜を食べることは、いいことがいっぱい。道の駅こまつ木場湯(蓮代寺町)やJAあぐり(日末町)では、地元生産者が丹精込めて育てた新鮮野菜が手軽に手に入ります。

こまつの農業が
直面している課題

昨年11月に行ったアンケート調査では、高齢化、担い手不足の課題が浮き彫りとなりました。この結果を踏まえ、市ではこれからも支援制度を拡充・創設していきます。

農業の新しい可能性

近年、市内でも先端技術を取り入れたスマート農業が広がっており、生産農家でも最新技術が経営の効率化を後押ししています。

ICTを活用した生育管理では無駄を省き出荷率を上げることも可能になります。GPSを使用し、無人で動くトラクターや田植機も実用化されています。ドローンでの農薬散布も増えてきました。

今後も新しい技術が生産性や効率を向上させていくことが期待されています。

ICTで生育管理

ドローンの活用

農機の自動運転

さあ、農業を始めよう

市では農業に関するドローン免許などの資格取得・新商品開発やスマート農業などの取り組みを支援しています。JA小松市と連携して新規就農に対する支援を行っていますので、気軽にご相談ください。

私たちに
お任せください!

小松市(左)とJA小松市の職員が
がっちりサポート

あなたの挑戦を
応援します

- 営農に必要な資格取得支援
- 新商品開発・販路開拓支援
- 新たな農産物チャレンジ支援
- JA小松市新規就農支援センター
- スマート農業支援 New



詳しくはこちらから



農業を軸に
地域を盛り上げたい
家族野菜stugutsugu
北出 高嗣さん(中海町)

金沢で営業の仕事をするうちに、子供の頃自然に親しんだ地元で何かしたいと思うように。そんな時、いきいきと農業をしている人の話を聞き、今まで関心のなかった農業に興味が湧きました。当時は仕事で子供と過ごす十分な時間をとれず、働き方への意識が変わったことも一因です。

やりたいことに挑戦してみたらという家族の後押しもあり、仕事を辞めて実家へ戻り、2年間有機農法の見習いに。有機はもうからない、大変だと先輩農家から言われましたが、やってみないと分からない!と挑戦しました。

就農して5年、中海町と岩上町で農業・化学肥料不使用の野菜づくりをしています。害虫や天候に悩まされることもありますが、直接食べる人の顔が見え、喜んでもらえる事がうれしいです。また、この業界は親切に教えてくれる人が多く、人と人との本当のつながりができている感じがします。

今後もイベントなどを通じて地元の良さを知ってもらい、地域を盛り上げていきたいです。



農業という大切な仕事を
未来へつなげたい
きらぼしファーム
小坂 佐枝子さん(下栗津町)

大阪でアパレル企業に就職し、2007年に小松市にUターンしました。

幼い我が子と気軽に始めたブルーベリー栽培でしたが、家族で各地の体験農園に出掛けるうち、使われていない祖父の農地を活用して自分でもブルーベリーの体験農園をやりたいと考えるように。令和6年の体験農園開業に向け、今は耕作面積の拡大や栽培技術の向上、6次化製品の開発に取り組んでいます。

昨年初めて迎えた収穫期は、会社員の仕事と子育てと集出荷を、家族で協力し合ってなんとか乗り切った3カ月でした。想定以上によく収穫でき、飛び込みで営業に伺った際には、地元のフルーツを待っていた!とばかりに喜んでいただけ、生産者としてのやりがいを感じられました。

農業は、ゼロから価値を生み出すことの出来る、大変尊く貴重な仕事だと思います。

樹上で完熟した、大粒で甘い本物のブルーベリーを多くの人に味わっていただき、子供からお年寄りまで誰もが楽しめる農園を目指したいです。



▲甘くて大きい粒を厳選して出荷

